

【部会・分科会活動報告】 2010年5,6月度

食 品 安 全 委 員 会	食品微生物研究部会	<p>部会全体会議 (5/20、15:30~17:00) 2010年度活動内容の議論と具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日先生(国立衛生研)講演会の具体化 日時:7/22(木)15:00~17:00 内容・演題も決定 ・4活動テーマの運営方法の具体化 各テーマの推進責任者を決定 <p>新テーマの活動の一環として講演会開催(5/20、13:00~15:00) 演者:駒木勝氏(日本缶詰協会所長)、参加者:44名 毒性学教育講座(食品リスク研究部会と共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第11回開催(6/28、14:00~17:00、講師:高橋道人先生) <p>次回部会全体会議:7/22、13:00~14:30を予定</p>
	食品リスク研究部会	<p>10年第3回運営会議開催(6/28、10:00~12:00、サントリー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「遺伝毒性発がん物質のMOEアプローチ (Benford D. <i>et al.</i> <i>Food Chem. Toxicol.</i> 2010)」について、メンバーで分担し和訳した内容を確認した。 ・リスクアセスメントにおける許容量評価の手法レジュメ内容の確認。 ・汚染物質評価に関する関連事項の共有化 <p>毒性学教育講座(食品微生物研究部会と共催)第11回開催 (6/28、14:00~17:00、サントリー) 講師:病理ピアレビューセンター 高橋道人先生 テーマ:化学物質の毒性についての考え方、参加者30名 <次回運営会議:8/2、10:00~12:00(サントリー)></p>
	食品アレルギー研究部会	医療機関との共同研究:提供を受けた食物アレルギー患者への負荷試験データについて統計的解析を進めた。
	香料研究部会	特記すべき活動なし。
	食品安全調査研究部会	特記すべき活動なし。
	食品安全研究会全体	TTCについてILSI本部Research Foundationとの共催シンポジウム開催の検討を開始している。 香料部会の岡村部会長を中心に、リスク研究部会のサポートのもと進めることとし、福島昭治理事にコーディネイターをお願いした。年内開催が目標。
バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 研 究 会	植物研究部会	2011年度開催予定の第6回「栄養とエイジング国際会議;ILSI Japan 30周年記念シンポジウム」に、バイオ部会として参画するかを検討するための、第1回全体会議が開催され、部会長が出席した(6月)。
	環境リスク評価分科会	
	アレルギー性タンパク質の分析方法分科会	
	組換え体検知法分科会	農水省・FAMICの久田課長に、2月9~11日開催のISOGM検知ワークショップの記事をご執筆いただいた(「イルシー」誌101号)。
	バイオテクノロジー研究会全体	表示拡大について、消費者庁とのコンタクト先が判明。

栄養健康研究会	栄養研究部会	2011年にILSI Japanの30周年記念事業を兼ねて行う予定の第6回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けてプログラム委員会等の活動を開始した。 2011年9月27～29日開催を目標に進行させる予定。
	肥満タスクフォース	新規のテーマを開始予定であるが、今回特に報告なし。
	炭水化物研究部会	GRプロジェクトと分科会を中心に活動してきたが、分科会の活動は終了した。
	GRプロジェクト	GRリング試験とりまとめ継続中。
	果糖分科会	分科会としての活動終了。
	茶類研究部会・茶情報分科会	茶情報分科会実施。第4回国際O-CHA学術会議、ILSI Japanセッションの内容(セッションタイトル、講演者等)について議論。お茶に関する武田先生、原先生との共同研究の進捗(武田先生茶葉試料の保管システムとILSI Japanへの提供システム、試料の整理状況、ILSI Japan茶葉試料の保管先変更等)について報告(6/18)。
	日本の食生活と肥満研究部会	3分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
	発酵製品の多様性分科会	日本調理科学会誌、Vol. 43, No. 2, 131-135 (2010)に「日本食からみる発酵食品の多様性と日本人の健康-肥満を中心に」が掲載された。
	脂質の種類分科会	オレオサイエンス雑誌へ受理され9月号に掲載予定。
	食事の量分科会	日本調理科学会誌への掲載に向け継続中。INTERMAP Studyのまとめ継続中。
食品機能性研究会		・第4回研究部会開催(6/2)。
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	テイクテン(TAKE10!®) 5/18, 20, 21, 25, 26, 27「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場) 6/15, 17, 18, 22, 23, 24「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場) 6/2 江戸川総合人生大学公開講座「食べることは生きること」(講師:木村美佳、江戸川区船堀) 6/18 読売新聞朝刊「暮らし教育」欄の「健康プラス」コラムにTAKE10!®についての記事と10食品群チェック表掲載 6/22~24 益田市介護予防リーダー養成講習(講師:木村美佳、島根・益田市) リズムテン(LiSM10!®) 6月 American Journal of Preventive Medicine 誌 Volume 51, Issue 1, July 2010, p11-17に第3期介入研究に関する論文「Effect of a worksite-based intervention program on metabolic parameters in middle-aged male white-collar workers: a randomized controlled trial」を掲載
	Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	5/17~28 水処理施設の現地視察(竹花氏、Hanoi/Namdinh) 6/8~17 IEC 現状調査(神馬先生、吉川氏、Hanoi/Namdinh)
	Project IDEA	6/21 Mixing Tank の材質の違いによる魚醤の官能検査(対象

(Iron Deficiency Elimination Action)	者：38人、Cambodia) 6/22~23 魚醤と醤油において強化する鉄剤（2種）の違いによる官能検査（対象者：それぞれ90人と40人、Cambodia）
CHP 全体	
国際協力委員会	<p>第5回国際協力委員会開催（5/25）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回 BeSeTo 会合対応 ・EAP プロジェクト第2期対応 ・コーデックス委員会報告（CCFL、CCCF） <p>第6回国際協力委員会開催（6/30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回 BeSeTo 会合（8/11～12 北京）対応 ・EAP プロジェクト第2期対応 <p>シンポジウム「水分補給のサイエンス～これからの水分補給を考える～」を、ILSI Japan、ILSI North America 共催、（財）健康・体力づくり事業財団・健康日本21推進フォーラム・日本コカ・コーラ（株）後援にて開催。170名を越す盛況さであった。</p>
情報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催2回（5,6月） ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討 ・「栄養学レビュー」誌 18巻3号（通巻68号）の発刊。 18巻4号（通巻69号）の翻訳・監修・編集作業進行中 19巻1号（通巻70号）の編集委員会開催、翻訳作業進行中 ・ニューズレター第4号作成中
編集部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌101号の発刊。101号の編集作業中。

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

【事務局からのお知らせ】

ILSI Japan 総会	
事務局	ILSI 本部の会長 Dr. Michael Knowles 氏が来日、6月7日 ILSI Japan 事務所にて会合、ILSI Japan の活動を紹介するとともに今後の協力体制等の意見交換を行った。